

平成 28 年 4 月 28 日

担当 都市整備部

氏名 伊藤 昌裕

電話 内線 2400

稲村ガ崎における下水流出事故の放流前残留塩素濃度について

本日（4月28日）開催された全員協議会において、中澤議員の質問に対し、放流前の残留塩素濃度の数値を把握していないと答弁しましたが、別紙のとおり確認できましたのでお知らせいたします。

下水流出水残留塩素濃度結果

(稲村ガ崎法面崩落による下水流出事故 (H28. 4. 22) の調査)

調査年月日

平成28年 4月23日 (土) ~27日 (水)

調査担当

浄化センター (水質管理担当)

調査地点

西部ポンプ場先マンホール

採水日		4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日
採取時間		11:45	9:34	10:15	10:27	9:51
気温 (°C)		19.1	15.4	17.3	23.9	23.0
水温 (°C)		20.3	19.3	20.5	21.3	21.2
残留塩素濃度 (mg/l)		0.30	0.00	0.00	0.10	0.30
消毒箇所	東部ポンプ場				○	○
	中部ポンプ場		○	○	○	○
	西部ポンプ場 先マンホール	○	○		○	○
消毒方法 東部ポンプ場 : 固形塩素剤 (固形塩素剤を入れた容器を排水中に投入し、定期的に補充) 中部ポンプ場 : 次亜塩素酸ナトリウム (ポンプによる添加) 西部ポンプ場先 : 固形塩素剤 (固形塩素剤を入れた容器を排水中に投入し、定期的に補充)						
残留塩素測定方法 : DPD法						